

## 平成 25 年度 予算編成方針（抜粋）

### 25 年度の予算編成の基本方針

平成 25 年度予算編成は、総合計画「理想郷プラン」の後期基本計画に基づき、改革達成から名張躍進に向けた飛躍につながるよう調製を行います。

厳しい財政状況を再認識し、情勢の変化に適切かつ的確に対応しながら、最大限の効果をあげるため、徹底した事業の「選択と集中」及び「スクラップ・アンド・ビルド」（効果の薄れた事業の廃止と真に必要な事業の創設）を行い、25 年度単年度収支の黒字化及び健全財政を実現します。

その取組みとして、戦略的かつ重点的な施策展開を目的に「名張躍進プロジェクト枠」と「地域ビジョン推進枠」を予算配分枠として設定するほか、新たな予算編成手法として行政評価結果を踏まえ限られた財源を予算配分する「施策別枠配分方式」を導入します。そして財政規律の維持（財政健全化の達成）と名張躍進を現実のものとするとともに、足腰の強い持続可能な財政構造の構築を目指し、次に掲げる方針の下、新年度予算を編成します。

#### 《 25 年度の予算編成の基本方針》

- ( 1 ) 当初予算は、原則として「通年予算」として編成
- ( 2 ) 財政早期健全化計画・市政一新プログラム（完結編）の取組みを着実に推進
- ( 3 ) 政策事業枠として、「名張躍進プロジェクト事業枠」と「地域ビジョン推進枠」を設定
- ( 4 ) 施策別の行政評価に基づき一般財源枠を設定し、総合計画・後期基本計画を推進
- ( 5 ) 「新しい公」の更なる推進

### 新たな予算編成手法（施策別枠配分方式）について

- ( 1 ) 各施策への枠配分財源（一般財源）

国の地方財政収支仮試算（総務省 9 月国予算概算要求時）等を基に推計した、最新の中期財政見通しで見込んだ歳入を、一般財源ベースで各施策単位に配分します。

配分額は、行政評価委員会での総合評価や事務事業評価（内部評価・外部評価）などを反映したものとし、庁議で決定し、各部等に通知します。

- ( 2 ) 枠配分経費の要求

配分額をもとに、各施策に関連する部等は、施策の成果の向上を図るためには、どの事務事業の成果を向上させるべきか、施策全体のコストを削減するためにはどの事務事業のコストを削減するべきか、などの観点から、優先順位を付するなどの評価及び調整を行い、

必ず、配分額を限度額として、各事務事業の必要経費を要求するものとします。

なお、事業実施のために、国・県補助事業やファンドなどを活用することにより特定財源を確保し、枠配分額の範囲内で要求する方法も検討してください。

### **「名張躍進プロジェクト事業枠」及び「地域ビジョン推進枠」の設定について**

名張躍進に向けた重点事業を政策的事業として予算化するため、施策別枠配分経費とは別に、「名張躍進プロジェクト事業枠」及び「地域ビジョン推進枠」を設け、下記の内容で予算化しますが、要求については7頁を参照してください。

#### (1) 名張躍進プロジェクト事業枠

名張躍進に向けた新たな土台づくりとして、以下の名張躍進プロジェクト事業枠を新たに設定します。

地域医療体制の充実

名張ブランド創出プロジェクト

子育て・子ども支援プロジェクト

健康増進プロジェクト

その他、名張躍進に向けたプロジェクト

#### (2) 地域ビジョン推進枠

市内15の地域で策定された「地域ビジョン」の実現を支援するため、24年度中に総合計画後期基本計画（地域別計画編）を策定するとともに、25年度予算に「地域ビジョン推進枠」を新たに設定し、地域の取組みを積極的に支援します。